

## くされ縁（女ver.）

### 【登場人物】

明美  
陽子

明美の部屋。

明美が電話で話している。

明美 はいはい、あー電車遅れちゃった？ あ、先始めていいの？ うん。……ああ、ヨウコ来てるよ、今トイレ。うん、じゃあね、先始めてるよー、はい、

明美、電話を切る。

陽子が現れる。

陽子 電話？

明美 ユウ君。

陽子 お。

明美 電車一本乗り逃して10分くらい遅刻だって。

陽子 そっか。早く会いたいなあ。

明美 ヨウコ何年ぶり？ ユウ君と会うの。

陽子 高校以来だから、8年？

明美 うわー、そんななるかー。

陽子 っていうか、この前アケミと会ったのだって8年ぶりだからね。

明美 ね。病院で会うなんてね。「ハシダ、ヨウコさーん」て呼ばれてんの聞いて、まさかって思ったら、

陽子 私もあんなところでアケミに会うと思ってなかったよ。つか、アケミ、ほんと変わったよね。

明美 言われる。高校んときちよつと太ってたから。

陽子 にしてもずいぶん変わったよ。

明美 ヨウコもけっこう変わったよ。

陽子 やっぱ8年も経つと、人間変わるんですな。

明美 よし、飲むか。

陽子 ユウ君は？

明美 先飲んでていいって。

陽子 ふうん、

明美 そうそう、今日は久々に三人集まるってことで、ちよつといいもん用意してきたよ。

陽子 お、実は私もいいもん用意してきたんだよね。

明美 マジ？ じゃあせーので出してみよ？

陽子 いいよ。

明美　せーの、  
明美　じゃーん、大吟醸ー！

まあまあ長い間。

明美　なんか、私とヨウコってこういうところあったよね、  
陽子　そうだっけ？

明美　「かぶる」んだよ。

陽子　ああ、

明美　……ヨウコ、昨日の夜、何食べた？

陽子　カレー。

明美　私もカレー。

陽子　うわっ。

明美　おとといは？

陽子　（少し考えて思い出す）かつ丼。

明美　かつ丼。

陽子・明美　うわー。

明美　三日前は。

陽子　（思い出そうとして）もう覚えてない。

明美　私も覚えてない。

陽子・明美　うわー。

明美　高校んときからそう、なにかと「かぶる」んだよ  
私たち。

陽子　そう？

明美　そうだよ。高1んときだって、夏休みに遊園地行  
ったら、ヨウコの家族と会ったし、

陽子　あー、

明美　その次の正月だって、初詣でヨウコと会っちゃつ  
たし、

陽子　はいはい、

明美　修学旅行んときみんな私服じゃん？　そんなとき全  
く同じ服着ててペアルックみたいになっちゃってさ、

陽子　あー、言われてみればあったかも。

明美　それからしばらく、私たち付き合ってたんじゃない  
かっていう噂流れたからね。

陽子　マジで？

明美　高校卒業した直後も、何度か会ったことあったし、

陽子　そうだっけ、

明美　そうだよ、あんた一回デート中に会って気まずか  
ったんだからね、

陽子　なことあったっけ？

明美　せっかくいい雰囲気だったのにぶち壊してくれや  
がってさ。あのあと別れることになったんだかね。

陽子　うわー覚えてない、

明美　私は死ぬまで忘れない。

陽子　まあ、くされ縁みたいなもんだよね。

明美　まあね、

陽子　でも、8年経って結局またこうやって出会ってる

わけだし、なにかと縁があるんだな私とアケミは。

明美 私は嫌だけどね。

陽子 今は？ 彼氏とかいるの？

明美 ふっふっふっふ。

陽子 え、なに「ふっふっふっふ」って。リアルで言ってる奴初めて見た。

明美 そろそろ結婚するのです。

陽子 えっ？ アケミが？

明美 三年付き合ってる彼氏と。

陽子 マジか、いいなー。え、どんな人なの？ なんて名前？ 歳は？ 仕事は？ かつこいい？

明美 いっぺんに聞くなよ。

陽子 じゃあ名前名前。

明美 ええ？

陽子 なんだよ教えろよ。

明美 恥ずかしいよ。

陽子 なんだよ気持ちわりいな。じゃあなんて呼んでんの？ その人のことなんて呼んでんの？

明美 (恥ずかしそうに) とつつあん。

陽子 ……なんか、銭形のとつつあんみたい。

明美 名前に「と」入ってるの。

陽子 へー、「トオル」とか「トシオ」とかってこと？

明美 まあまあ、

陽子 かつこいい？

明美 (照れて) ……かつこいい。

陽子 うわあマジかマジかあ！ (真剣に) あんた絶対騙されてるよ……。

明美 なんでだよ、

陽子 そんないい男、アケミと付き合わないよ。

明美 失礼でしょ。

陽子 目え覚ませよ。

明美 私にもそんなくらいの男できんの。

陽子 えーマジかマジか、写真は写真？

明美 ない。

陽子 ないの？

明美 写真撮られんの嫌がんだよ。

陽子 あーいるよねそういう男。私の彼氏もそうなんだよ。

明美 (かなり驚いて) 彼氏いんの？

陽子 まあねー。

明美 えどんな人どんな人？ なんて名前？ 歳は？ かつこいい？

陽子 いっぺんに聞かないで。

明美 じゃあ名前名前、

陽子 ええ？

明美 あんたも恥ずかしいんじゃないよ、なんて呼んでんの？

陽子 (恥ずかしそうに) あっちゃん。

明美 なに恥ずかしがってんだよ。え、なんの仕事してんの？

陽子 いやいやそんな大した……、

明美 いいからいいから、

陽子 まあ、

明美 うん、

陽子 パチプロ？

明美 ……、

陽子 トータルマイナスらしいけど。

明美 ……ああー……なるほどねえ……、

間。

明美 それにしても懐かしいね、高校時代。

陽子 早く会いたいなあユウ君、

明美 私、ときどき会っただけだし、ユウ君変わってないよ。あのかっこかわいいまんま。あれに大人っぽさがプラスされた感じ？

陽子 最強じゃねえかよ！

明美 そうなのそうなの。そろそろ来てもいい時間なんだけけど、

陽子 ……今だから言うけどさ。

明美 なに？

陽子 私、実はユウ君と付き合ってたんだよね。

明美 ……は？

陽子 意外でしょ？ 実は付き合ってたんだよね、高校

るとき。

明美 いやいや、え？ マジで言ってるの？

陽子 マジマジ。びっくりしたでしょ？

明美 いやいや、ないない絶対ない。何言ってるのお前、

バカじゃねーの、失せろカスが。

陽子 否定しすぎだろお前。最後失せろカスって言ったよ。

明美

だってあんたクラスの超絶人気者のユウ君よ。ヨ

ウコと付き合うなんてあるわけないじゃん。

陽子 いやいやホントホント。

明美 ……えいつ？ いつ付き合ってたの？

陽子 高3の夏休み明けから卒業までだよ。

明美 ないない。

陽子 なんで、私が付き合ってたって言ってるじゃん。

明美 ありえないね。高2の冬から私と付き合ってたんだから。

陽子 ……は？ ……いやいや、え？ いつまで？

明美 卒業まで。

陽子 いやいやありえないありえない、ユウ君卒業まで

私と付き合ってたから。

明美 ……。

陽子 え？

明美、落ち込む。

明美 ウソ……。

陽子 ……マジか、

明美 (気づく) うわ、

陽子 なんだよ？

明美 またヨウコとかぶった？

陽子 うわ、かぶった、

明美 こんなとこまでかぶせてくんないよ……。

陽子 私だっつかぶりたくないよ……

少し間。

陽子 ……これからユウ君来んだよね？

明美 ……おお、

陽子 ちよつと問い詰めない……？

明美 え、どうすんの、だって、本当に二股だったら。

陽子 知らないよ、怒ればいんだよ、「こらーっ！」(なかなか上手く怒れていないので違う起こり方)「こらーっ！」つて。

明美 怒り方変だよ。

陽子 知らないけど、謝ってもらうしかないじゃん。

明美 だよな、やっぱそうだよな。

陽子、大声で何度も「こらーっ！」の練習。

明美も「こらーっ！」の見本を見せようとするが、やはり変な感じになってしまう。

チャイムの音。

陽子 え、ユウ君じゃない？

明美 ……ちよつと行ってくるわ、

陽子 おう、最初はなにげなくね、なにげなく、「お、おう、ユウ君どうしたの？」みたいな、

明美 なんて偶然なんだよ、来ることなんてんじじゃん、中村 なんでもいいから、ね、なにげなく。

明美、去る。

陽子 くそ、どうしよう……、「こらーっ！」、「こらーっ！」

明美、素早く戻ってきて陽子の口を塞ぐ。

明美 静かに。

陽子 ……な、なに。ユウ君は？

明美 ユウ君じゃなかった。

陽子 は？ じゃあ誰？

明美 隣の人。うるさいって。

陽子 あ……、

間。

陽子 ……ん、ちょっと待て。アケミ、付き合い始めたのいつって言った？

明美 え？ 高2の冬だけど。

陽子 高3の夏休み明けから会ってた？

明美 いや、受験勉強忙しかったしあんまり。

陽子 ……アケミさあ、……実は別れてたんじゃない？

明美 は？

陽子 アケミと別れて私と付き合ったんじゃないの？

明美 ……はあ？ 別れてないし。

陽子 アケミの中ではそうかもしれないけど、ユウ君の中ではもう別れてたんだよ。

明美 いやいや……、

陽子 いずれにしてもだよ、高3の夏休み明けに私と付き合ってるってことはね、アケミはその時点で飽きられてたってことじゃないの？

明美 ……ええ？

陽子 まあユウ君も、アケミより私の方がいいって気づいたんだろうね。

明美 それはない、絶対にありえない。

陽子 アケミより私のほうがいい女だし。

明美 ありえねえし。私のほうがいい女だし。

陽子 バカじゃない？

明美 バカじゃないし、私のほうがカワイイし頭いいし。イケメンと付き合えるくらいいい女だし。

陽子 それがありえないんだって。どうせイケメン彼氏とか見栄張ってるけど大したことないんでしょ？

明美 はあ？ 大したことあるし。カッコイイし！

中村 はあ？ じゃあちよつと特徴言ってみなよ、似顔絵作ってやるから。

明美 ヨウコ絵下手じゃん。

陽子 あんだよそういうアプリが。（スマホを操作する）ほら、顔どんな形？

明美 は？

陽子 どんな形？

明美 形とか言われても。

陽子 選べよこつから。

明美 ……これ。

陽子 目は？

明美 これかな。

陽子 おう、鼻は？

明美 しゅつとしてる。

陽子 口びるは？

明美 薄めかな。  
陽子 おう、髪は？  
明美 ツーブロック。  
陽子 ……なんか私の彼氏と似てんな。  
明美 ……。  
陽子 え、あのさあ、口元にホクロない？  
明美 あるある。  
陽子 私の彼氏もある。  
明美 ……え？  
陽子 ……いやいや、まさか。  
明美 八重歯じゃない？  
陽子 うん、ヤエバ。  
明美 ……。  
陽子 ……やめてよマジ、こんとこまでかぶってくんないよ。  
暁美 こっちだってかぶりたくないよ、  
陽子 え、じゃ、じゃ、じゃあこれは？ 首筋にやけどの跡。  
明美 あ、ない、ないよそんなの、ない！  
陽子 マジ？ マジ？  
明美 うん、ないよ。よかった、ない！  
陽子 私の彼氏もないんだよ。  
明美 ねえのかよ！ ねえなら言うなよ！  
陽子 え、名前は？ 名前？ アケミさつきとつつあん

て言ってたよね。名前、「トオル」とか「トシオ」とかでしょ？  
明美 ううん、アキト。  
陽子 ……うわうわうわわ、  
明美 え、だってヨウコあっちゃんって、あ……、  
陽子 アキトだよ、私の彼氏もあきと、  
明美 いやいやいや、  
陽子 マジ、私こんなとこまでかぶりたくないよ、  
明美 苗字違うでしょ苗字、  
陽子 待って待って、……よし、じゃあせーの言おう、せーので、  
明美 せーの、  
陽子 待って待って、まだ準備できてない、  
明美 準備もなにもないじゃん、  
陽子 心の準備でしょ、  
明美 知らないよ、せーの、  
陽子 待って待って、落ち着こう、  
明美 落ち着いてらんないよ、  
陽子 やめよ、知らなきゃいいこともある、  
明美 まだ同一人物かどうかかわかんないじゃん、とつつあんはそんな、二股するような男じゃないよ、  
陽子 本当やめよう、  
明美 やだ、せーの言えよ、  
陽子 勘弁して……、

明美　いくよ、言えよ、絶対言えよ、

陽子　……わかったよお、

明美　せーの、

明美・陽子　サイトウ。あーっ！！

間。

明美　……は？　え？　どういうこと？　え？　だって

私結婚すんだよ？

陽子　知らねーよ……、

明美　いやいやありえないって、とつつあんはそんなやつじゃないって、

陽子　そうだよ、あっちゃんだってそんなやつじゃないよ、

明美　こんなとこまでかぶせてくんない……、

陽子　私だってやだよこんなの……、

少し間。

陽子　どうすんだよ。

明美　どうするったって、別れるしかないでしょ、

陽子　だよね……。

明美　……くそ、悲しいの通り越してムカついてきた。

陽子　私も。

明美　ちよつととつつあんに電話するわ。

陽子　おう、途中で私にも代わってくれよ。

明美　ああ。

明美、電話をかける。

明美　……もしもし、とつつあん？　……うん、あんた

にききたいことあんだけど。……あんた二股してるよね？　……「え？」じゃなくて、ヨウコと二股してる

よね？　……こっちは証拠があがってんだよ。騙しやがってさあ。クソがよ！　ヨウコに代わるわ。

陽子　あっちゃんさあ、マジがっかりだわ。二度を顔見せんかスガ。あん？　誰じゃねえよ橋田陽子だよ。

びっくりした？　まさか私がアケミと知り合いなんて思わないもんね？　……あん？　うるせえよ、失せろ、

バーカ！（明美に電話を渡す）

明美　お前との結婚なんかこっちから願ひ下げだからな！　二度とそのツラ見せんじゃねえぞ！（電話を切る）

ひどく落ち込んでいる二人。

明美　あーくそ！

陽子　くそっ……。

明美　ほんとくそだ……、



陽子 くそっ……別人だった……、

かなり長い間。

明美 ……うん？

陽子 私の彼氏じゃなかった、

間。

陽子 私の彼氏あんな声とか喋り方じゃないわ。全然違う。

間。

陽子 え、あつとってどんな字？

明美 重篤の「とく」に北斗の「と」。

陽子 あ、私の彼氏、「あつい」に「ひと」。

少し間。

明美 てめ、

明美、陽子を殺しにかかる。

陽子、必死の抵抗。

そこに電話の着信音。

明美 とつつあんからだ！

明美、電話に出る。

明美 もしもしとつつあん？ ごめんごめんごめん、違う、さっきの違う、全然ほんと違う、ね？ うん、別れない、違うんだよ、とつつあん、とつつあーん！

電話は切れる。

陽子 なんだって？

明美 もう二度と会わないって。

陽子 だろうね。

明美 殺す、

明美、殺しにかかる。

陽子、必死に抵抗して距離を取る。

明美、また殺しにかかる。

陽子、必死に抵抗して距離を取る。

明美、いったん奥へ行き、包丁を持ってくる。

明美 マジで殺す。

陽子 タイムタイムタイム、落ち着こ、落ち着こ。  
明美 落ち着いてるよ。

チャイムの音。

明美 うっせえ！ 殺すぞ！

陽子 ユウ君じゃないの？

明美 そうだ、あいつも問い詰めなきやいけないんだ。

陽子 待って待って。

玄関へ去る。

明美の声 ユウ君さあ、お前高校るときハシダヨウコと  
付き合ってたらしいじゃん？ ええ？ 二股だろうが  
二股。おい、知らねえじゃねえんだよ！ 本当のこと  
言うまで、この家入れねえからな！ 入ってきたら刺  
し殺すからな！ わかったな！

明美、戻ってくる。

陽子 アケミ怖いよ。

明美 うっせえ、ユウ君に裏切られて、とつつあんにも  
振られて、全部でめえのせいだからな。ヨウコを殺し  
て私も死ぬ。

陽子 落ち着けって。

明美 ついでにユウ君も殺す。

陽子 ユウ君は関係ないじゃん。

明美 あいつは私を裏切ったんだよ。

陽子 待ってって、ユウタ君は巻き込まないで。

少し間。

明美 ユウタ君？

陽子 なに。

明美 誰ユウタ君って？

陽子 は？ さっきから話してんじゃん。同級生だった  
堂本ユウタくん、

明美 は？

陽子 え？

明美 ユウキ翔平くんでしょ。

陽子 誰？

明美 え？

やや間。

陽子 え、あの、明美だよ？

明美 明美だよ。

陽子 だよ？ 工藤明美だよ？

明美 え？

陽子 え？

明美 中田明美ですけど。

陽子 ……。

明美 え、ハシダヨウコだね。

陽子 うん、橋田陽子。

明美 洋服の「よう」に子供の「こ」でヨウコだね？

陽子 え？

明美 え？

陽子 太陽の「よう」……。

明美 え、西高だね？

陽子 東高。

間。

なんか、かなり気まずい二人。

照明が落ちていく。

明美はとりあえず突きつけている包丁をおろす。

二人とも、「あ、あ」などと言いながら、会釈。

二人はどうしていいかわかならず気まずいまま、ゆっくりと照明が落ちていく。

作・小佐部明広

—幕